

文化庁月報

No.417
2003年

6月号

CONTENTS

文化人の本音 河合隼雄文化庁長官対談 第15回 ゲスト 桂 米朝さん●落語家

これ好きやさかい、これ残したいんや	4
長官コラム 文化庁の抜穴	9

わがまちの文化振興条例③ 気仙沼市文化芸術振興条例	22
ことばの探検⑤ 中国ではグルグル	山口仲美・24
著作権の保護とその例外③	25
いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート⑤ 広島県立歴史博物館	26
全国発掘調査ホット情報③ 壇の越遺跡埋蔵文化財発掘調査の成果と展望 文化財部記念物課埋蔵文化財部門	27
子どもたちから見た伝統的建造物群保存地区 八女福島(福岡県八女市)	28
外来語の現状とその解決のために③ 特色をもった外来語辞典にどういふものがありますか	甲斐睦朗・29
文化体験プログラム支援事業③ 大阪府大阪市	30
日本の伝統美と技を守る人々 選定保存技術保持者編27 千田堅吉(唐紙製作)	31
探訪 日本の世界遺産③ 法隆寺地域の仏教建造物	32
国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法—文化財鑑賞の手引き—③ 梵鐘のみかた	33
平成15年春の叙勲、褒章受章者	34
平成14年度(第25回)文化庁舞台芸術創作奨励賞決定	36
平成14年度(第4回)文化庁優秀映画賞受賞作品	37
あなたのまちで伝統文化こども教室をはじめませんか	38
平成15年度 京都国立博物館夏期講座のご案内	39
「関西元氣文化圏」及び「文化力ロゴマーク」について	39
東京国立博物館 新たな国民のたから 文化庁購入文化財展	40
奈良国立博物館 特別展 インド・マトゥラー彫刻展／パキスタン・ガンダーラ彫刻展 仏像誕生の地から奈良へ	41
東京国立近代美術館 地平線の夢 昭和10年代の幻想絵画	42
京都国立近代美術館 横尾 by ヨコオ 描くことの悦楽／イメージの遍歴と再生	43
東京文化財研究所 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	44

特集 文化ボランティアをしてみませんか	文化庁提言
文化ボランティアで「橋」を架ける	紹介
文化ボランティアの推進に向けて 文化ボランティア実践者アンケート調査結果の概要	寄稿
NPO法人に対する寄附促進のための工夫 税制上の認定NPO法人制度の活用	施策紹介
文化ボランティア活動の環境整備に向けて	政策課
河合隼雄	18
三曲合奏研究グループ	17
調査結果の概要	12
河合隼雄	10

今月の表紙
平成15年5月23日
「文化芸術懇談会(東海甲信ブロック)」
会場：名張市総合福祉センターふれあい(三重県)

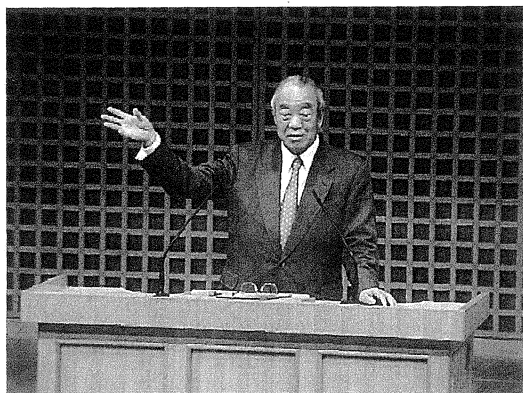
新国立劇場スポットライト	45
7月の国立劇場	46
芸術文化振興基金ニュース	47

題字デザイン 桑山弥三郎

文化ボランティアで「橋」を架ける

これまでの日本は各地域の道路に橋を架けることにより、人々や地域同士の交流が深まり、かつ、経済的な発展をもたらしてまいりました。これからわれわれがやらなければならないのは、文化芸術の橋を架けることではないかと思えます。文化ボランティアをなさっている皆さんは、文化ボランティアでいろいろな文化芸術の橋をかけてほしいと願っています。

その一つは、行政の職員と民間の側の人々との間の橋です。私が座長をつとめさせていただいてとりまとめた「21世紀日本の構想」(二〇〇〇年一月、「21世紀日本の構想」懇談会)では、官民の協力による新たな「公」の創出を行っているこ



全国ボランティア交流会
(平成15年3月14日(金)、京都コンサートホール)

地域との橋もできていきます。ついに、国際的な文化ボランティアにより、国を越えた橋にもなっています。

このような文化ボランティアの活動を皆さんは是非あちこちから情報提供していただきたい。これは日本人的特徴ですが、なんかボランティアをやりたいが、なにをやったらよいかわからないという方々がおられます。そのような方々には、こんなこともある、あんなこともある、好きなことをやってみよう、いろいろな文化ボランティアができています。

橋を架けるといって、現実と夢の間の橋を架けることもあります。うちの「まち」で一度素晴らしいオーケストラをよびたい、その実現のために文化ボランティアが取り組む、実際に成し遂げた後のうれしさをみんなで分かち合ってみよう。

このような文化ボランティアの活動で一つ注意しないといけないことは、自分たちがよいことをやっているからと、あなたもよしなさいと善意の押しつけをしないことが必要です。よいことをしているとと思うと反省をしなくなりがちです。

すると新しいことを行うのは嫌がるくらいがありますが、是非、このような新しい姿勢にチャレンジしてほしい、一緒に橋を架けてやろうとなつてほしい。

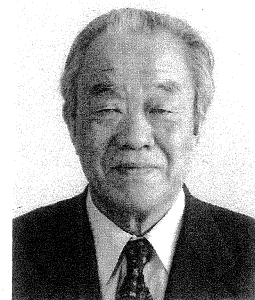
また、文化ボランティアで世代間にも橋が架かります。文化ボランティアには高齢者の方から中学生までそれぞれの世代が知識、技量をもって参加されます。地域でも普段接することの少ないいろいろな世代の方々が会して、交流して、一つのことをやってみようにより、地域の中での世代間の橋ができていきます。

さらに、例えば、ある自治体とある自治体の方々がそれぞれの特色を活かして協働して文化芸術活動を行うなどにより、

各地域には、文化芸術に関心はあるのですが、なんとなく足が遠ざかっている方々が少なからずおられます。特に六〇歳以上の方々でお金も持っているが何をやらたらよいかわからない、このような方々に文化芸術に一回あつてもいいのではないかと。うちの市では、オペラをよびたい。アイデアを使うとやれます。日本はこれまでお金には関心を寄せていましたが、心を使わなかった。これからはお金だけでなく心と体を使う。お金だけでなくみんなでお金と汗をだしあつて成し遂げた時はうれしいものです。

また、これまでのわが国では、福祉分野がボランティアの中心でしたが、福祉のボランティアも文化ボランティアももとなるものは同じです。いろいろな文化ボランティアにより皆さんが交流し、たくさんの橋が架けられることを願っています。

文化庁長官
河合隼雄



※本欄は、平成一五年三月一四日(金)に開催された全国文化ボランティア交流会での河合長官の講話を要約したものです。

◆長官対談◆
 「文化人の本音」河合隼雄文化庁長官対談
 堀田 力 弁護士・さわやか福祉財団理事長
 「長官コラム文化庁の抜く」

◆特集◆ 文化と科学技術の融合 ～文化創造最前線～

【巻頭言】
 文化庁
 【事例紹介】
 凸版印刷株式会社
 東京国立博物館
 (財)文化財建造物保存技術協会
 独立行政法人奈良文化財研究所

ほか

◆連載◆
 「わがまちの文化振興条例」
 愛知県春日井市
 「ことばの探検」……………山口仲美埼玉大学教授
 「著作権の保護とその例外」
 「いきいきミュージアム」美術館・博物館事業レポート
 萬哲五郎記念美術館(岩手県)
 【全国発掘調査ホット情報】
 前田茶臼山遺跡(山口県)
 【子どもたちから見た伝統的建造物群保存地区】
 萩市堀内・平安古(ひやこ)浜崎地区(山口県)
 【外来語の現状とその解決のために】
 ……………甲斐陸朗国立国語研究所所長
 【文化体験プログラム支援事業】
 足利文化体験プログラム事業
 【日本の伝統美と技を守る人々】
 竹釘製作・石塚芳治
 【探訪 日本の世界遺産】
 白神山
 【国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法】
 焼き物の釉薬とその技法
 ◆文化庁ニュース◆
 文化財の新指定

文化庁月報 6月号 (通巻417)

平成15年6月25日印刷・発行

編集——文化庁

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

発行——株式会社 ぎょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16

電話 編集 03 (3571) 2126

販売 03 (5349) 6666

URL : <http://www.gyousei.co.jp>

印刷所——ぎょうせいデジタル株式会社

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、筆者個人の見解であることをお断りいたします。

定価540円 [本体514円] 送料76円

年間購読料6,480円

本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込みください。

広告の問い合わせ・申し込み先

(株) ぎょうせい営業部広告課

電話03 (5349) 6657 (ダイヤルイン)

©2003 Printed in Japan ISSN 0916-9849

本誌は本文用紙に再生紙を使用しております。

編集後記

文化庁では今、これまでの「経
 済力」だけでなく「文化力」によ
 って日本を元気にしようという取り組み
 を行っています。日本の文化といえは、
 独特の自然を味わうところに端を
 発しているものが多いように思いま
 す。想像してみてください。身近な
 ところでの「衣」然り、「食」然り、
 「住」然り、ですよね？
 じっくりと自然を味わう技に長

けている皆さま、日本独特の気候
 がもたらす雨の季節を、いかがお過
 ごしでしょうか。おすすめは、文化
 庁月報6月号を片手に、雨の音に
 耳を傾けて心静かに梅雨を味わう。
 晴れたころには元気でいっぱいにな
 って、外へ出て、文化ボランティア
 でもしてみようかな、という気分にな
 っているのではないですか？
 (K・K)

文化庁では、ホームページで、文
 化庁に関する情報を幅広く提供し
 ています。ご意見、文化庁月報の
 感想などを、ホームページのご意
 見欄へお寄せください。

●ホームページアドレス●
<http://www.bunka.go.jp>